第46回

社会を明るくする運動

強調月間

7月1日～31日

ふれあいと対話が築く明るい社会

「社会を明るくする運動」はすべての国民が、犯罪防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

地域の関係者は、さまざまな行事を企画し、犯罪を誘発させない環境づくりに協力しています。あなたも参加してみませんか。

重点目標

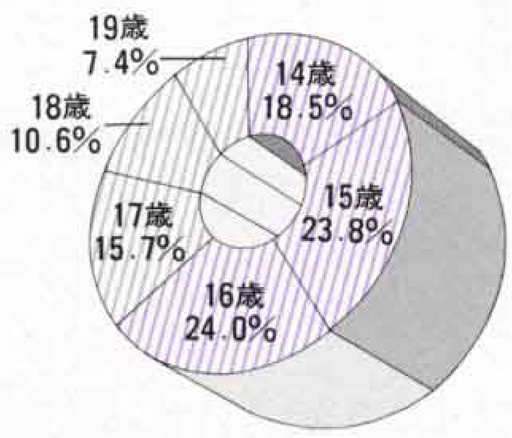
少年の非行防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める

街頭啓発

7月1日(月)　17:00～18:00
富士・吉原・鷹岡　各商店街

◀非行の中心は低年齢層▶

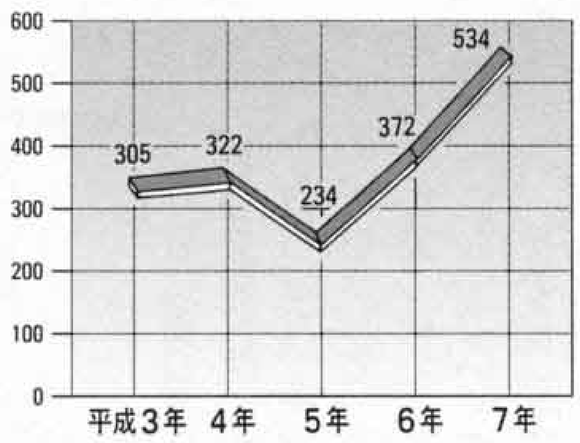
●刑法犯少年の年齢別補導状況(平成7年)



補導された刑法犯少年は12万6,249人。このうちの14歳～16歳の少年は、全体の66.3%を占めています。

◀深刻ないじめの問題▶

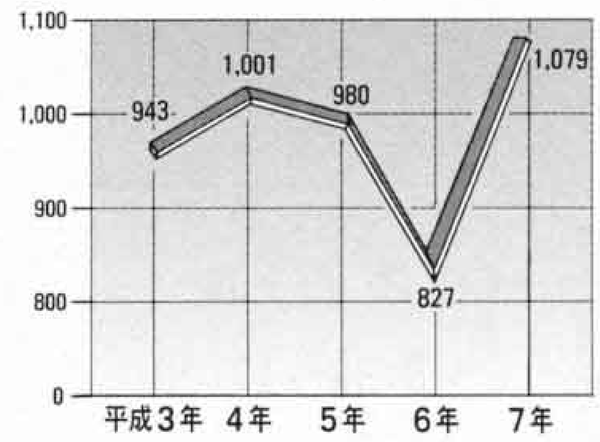
●いじめによる補導人員の推移(平成3年～7年)



平成7年のいじめによる補導人員は、534人。前年に比べて162人増加しています。このうちの約77%が中学生です。

◀覚せい剤の乱用少年が増加▶

●覚せい剤乱用少年の補導人員の推移(平成3年～7年)



平成7年に覚せい剤の乱用などで補導された少年は1,079人。平成元年以降で最高を記録しています。

※各グラフは警察庁の統計をもとに作成

問い合わせ　社会福祉課　内線2311